

2019年8月28日

各 位

東京都目黒区大橋一丁目5番1号株 式 会 社 カ イ カ 代表取締役社長 鈴木 伸 (JASDAQ:2315)間合せ先: 代表取締役副社長 山口 健治 TEL03-5657-3000(代表)

子会社の異動(株式譲渡)に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社ネクス・ソリューションズ(以下、「ネクス・ソリューションズ」といいます。)の全株式を株式会社實業之日本社(以下、「實業之日本社」といいます。)に譲渡することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

これに伴いネクス・ソリューションズは当社連結子会社から除外されることになります。

記

1. 株式譲渡の理由

ネクス・ソリューションズは、西日本において地域に密着した金融・流通・通信・製造業等の有力顧客からシステム開発を請け負っており、当社の連結子会社として、当社グループの事業規模拡大および西日本エリアでの営業基盤の強化に取り組んでまいりました。

一方、当社グループでは、銀行・証券・保険等の金融業をはじめ、流通・小売業、情報通信業等、多様な業種でシステムを構築し、システム開発業としての実績は約50年に亘ります。現在グループ戦略としてフィンテック分野、とりわけ暗号資産(仮想通貨)の基幹技術であるブロックチェーン関連のシステム開発や、仮想通貨交換所システムの開発、保守および運用、仮想通貨交換所システムの外部向け販売等に注力しており、当該分野への経営資源の集中を図っております。

ネクス・ソリューションズはこれまで、当社連結売上・利益への貢献、両社の営業網の活用等の一定のシナジー成果はあったものの、既存顧客からの受注が好調であったことから技術者の不足が常態化しており、当社グループが現在注力しているブロックチェーン等のフィンテック分野に充分な技術者を配分できず、フィンテック分野におけるシナジーは発揮しきれていない状況でありました。

当社グループが事業を展開する国内ITサービス市場は2020年のオリンピックによる支出拡大効果は見込まれるも2021年は反動減となり、2018年~2023年の年間平均成長率は1.3%で推移するとの予測**もあり、今後大きな伸びは期待できないと考えております。今後、当社グループが継続的かつ安定的な成長を図るための第2の柱として、経営資源をフィンテック分野に集中し、企業価値の向上を図りたいと考えていたところ、實業之日本社より、實業之日本社グループ内で迅速に内製が可能となるシステム開発会社を擁したい旨の要望があり、上述した当社の戦略およびネクス・ソリューションズの特徴を鑑み、当社の子会社としてではなく實業之日本社の子会社として事業の発展を目指し、引き続き既存顧客からの受注の維持拡大に努めることがより最適であると判断するとともに、フィンテック分野を取り巻く環境の著しい変化とその成長速度に適応すべく、ネクス・ソリューションズを實業之日本社へ譲渡することを決断いたしまし

た。

今後、当社グループは、当社における従前のシステム開発事業に加え、暗号資産(仮想通貨)の基幹技 術であるブロックチェーンを活用したフィンテック分野のビジネスを拡大させてまいります。

※ 出典: IDC Japan 株式会社 国内ITサービス市場予測

2. 異動する子会社の概要

4. 77.3	1) 21 4	11.47 1963	`				
(1) 名称				株式会社ネクス・ソリューションズ			
(2)所在地				東京都港区南青山五丁目 4 番 30 号			
(3) 代表者の役職・氏名				代表取締役社長 坂本 康治			
(4) 事業内容				コンピュータのソフトウェアおよびシステムの設計、開発、販売および			
				保守、管理ならびにコンサルティング業務			
(5)	資本金			300 百万円			
(6) 設立年月日				2010年9月16日			
(7) 大株主及び持株比率				当社 100%			
(8)	上場会社と	当該会	社との	間の関係			
	資 本	関	係	当社がネクス・ソリューションズの株式を 100%所有しております。			
1 44 BB 15			K	当社の代表取締役および取締役がネクス・ソリューションズの取締役を			
人 的 関 係 兼務しております。							
				当社は、ネクス・ソリューションズよりシステム開発を受注しておりま			
	取引	関	係	す。			
関連当事者へ				関連当事者に該当いたします。			
の 該 当 状 況				関連ヨ争有に該ヨいたしまり。			
(9) 最近3年間の経営成績及び財政状態 (単位:百万円							
		決	算期	2016年11月期	2017年10月期※	2018年10月期	
純	資		産	645	613	656	
総資産			産	1, 333	1, 341	1, 290	
1 株 🖁	当たり純	資産(円)	53, 721. 41	51, 061. 05	54, 581. 20	
売	上		高	2, 504	2, 294	2, 667	
営	業	利	益	48	43	83	
経	常	利	益	49	49	87	
当	期 純	利	益	30	△31	42	
1株当たり当期純利益(円)				2, 566. 28	2, 660. 36	3, 520. 15	
1 株 当 た り 配当金(円)				0	0	0	

[※] ネクス・ソリューションズの2017年10月期は、2016年12月1日~2017年10月31日の11ヵ月の変則決算であります。

3. 株式譲渡の相手先の概要

(1) 名称	株式会社實業之日本社
(2) 所在地	大阪府岸和田市荒木町二丁目 18 番 15 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 岩野 裕一
(4) 事業内容	定期刊行物・図書の出版および販売
(5) 資本金	33 百万円
(6) 設立年月日	1929年12月1日
(7)純資産	900 百万円 (2019 年 1 月 31 日現在)
(8) 総資産	2,932 百万円 (2019 年 1 月 31 日現在)

(9)大株主及び持株比率 (2019年7月31日現在)				Ž	株式会社シークエッジ・ジャパン・ホールディングス 96.8%
(10) 上場会社と当該会社との					間の関係
	資	本	関	係	該当事項はありません。
	人	的	関	係	實業之日本社の代表取締役は当社連結子会社の社外取締役を兼務しております
	取	引	関	係	当社は實業之日本社からシステム開発を受注しております。
	関	連当	事 者	^	当事項はありません。
	\mathcal{O}	該当	i 状	況	

4. 譲渡株式数、価額及び譲渡前後の保有株式数の状況

(1) 異動前の保有株式数	12,020株
	議決権割合 100%
(2) 譲渡株式数	12,020株
(3) 譲渡価額	650百万円
(4) 異動後の保有株式数	0株
	議決権割合 0%

5. 日程

(1) 取締役会決議日 2019年8月28日

(2) 契約締結日 2019年8月28日

(3) 株式譲渡実行日 2019年9月2日 (予定)

6. 今後の見通し

本件による 2019 年 10 月期連結業績への影響は他の要因も含め現在精査中であり、今後開示すべき事実が発生した場合は、速やかに開示いたします。

以上